



自由民主党福岡市議団

稲員としお 市政報告

2017年3月号 Vol.2



平成27年4月に市議会議員に初当選をさせて頂き2年が経過致します。常任委員会(第2)では28年度副委員長として教育・子育て支援・医療・介護・福祉の充実に務めてまいりました。これからも皆様からのご指導・ご意見・アドバイス・ご要望を賜わりお役に立てる様頑張ります。

今後とも宜しくお願い申し上げます。 稲員 穂夫

地域活動について

これまで地域の方々が生民の為に一生懸命に地域活動に取り組まれておられる後姿を見ながら私もいち地域の住民としても勉強させて頂いております。私も地域活動として下記の事柄に取り組んでいます。

◎少年剣道の指導(2校の校区で)

武道そしてスポーツによる子供達の健全育成は非常に大切であると考えております。

◎消防団活動(中央消防団、警固分団にて)

大規模から小さな災害時に力を出せる様訓練をしております。
又、伝統ある纏い隊にても先輩方に厳しくご指導を頂いております。

◎朝の登校指導

毎朝子ども達の登校時の見守りをしております。長く続けてこれている地域の方々にご指導を頂きながらこれからも続けてまいります。

◎ニューはつらつスポーツの会(ソフトボール・バレーボール)

年に2回中央区のソフトボールクラブとバレーボールクラブの皆様に参加を頂き大会を開催しております。ニューはつらつスポーツの会 会長が良く言われる「よく、向う3軒両隣りと言うけれど、私は向う8軒両隣り、町内を越えて人と人との結びつきが大切であり、いざ災害が発生した際や、防犯、そして地域で地域の人を見守るうえでこの絆が必要である」中央区の各校区の出場チームの方々チーム以外の方々ともスポーツを通して絆を育んで頂ける様会長の理念を大切に、これからも開催していきますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。中央区の各校区が、笑顔で挨拶を誰とでもかわせる街へとになっていく事がこれからの中央区、福岡市の更なる魅力UPにつながるのではないのでしょうか。



我が、ふるさと福岡市を日本国内・世界でも誇れる市とすべく心血をそそぎます。

自由民主党福岡市議団を代表して以下の質問をしました。

3月

- ・教科用図書の採択について
- ・子ども子育て支援新制度について
- ・歩行喫煙の防止について

6月

- ・地域における移動支援について
- ・緊急時にAEDが使用できるための取組みについて

10月

- ・民泊について
- ・福岡城再整備とセントラルパーク構想について



3月 教科用図書の採択について

平成27年11月に市立中学校校長が教科書発行者が主催した会議に出席をして、教科書を選定するうえで、外部からの不当な影響を受けた一部の者によって公正かつ適正であるべき教科書採択に問題が生じた可能性を示すものであり子供達が国家、社会の形成者として必要な基本的資質をそこう可能性がある為「今後採択の仕組み自体を根本から見直していく様強く求めております」

3月 子ども子育て支援新制度について

この新制度は、「質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供」「保育の量的拡大、確保、教育、保育の質の改善」「地域の子ども、子育て支援の充実」を目的としております。そうした中、保育園が足りないという問題と保育士のなり手不足の問題があります。私は議員になって直ぐにある保育園に1日体験をさせていただきました。この様な経験をふまえて保育士さんの仕事を理解しているつもりであります。「福岡市は今後保育協会と福岡市独自の保育士の処遇改善や労働環境の整備について未来へ向けた話し合いを行っていく様求めております」

3月 歩行喫煙の防止について

福岡市は国内でも活気があり魅力ある都市の一つであります。しかし、車、自転車の運転マナーが悪かったり、軽犯罪も多い街です。そうした中、市民のマナーの向上というものも防犯の一つになると思っております。朝の通学路や人が混雑している所でも歩きタバコをしている人を良く見かけます。歩きタバコはポイ捨てにもつながります。ゴミがあるところに犯罪が発生しやすいという事も聞いております。そこで福岡市のモラル・マナー条例にある禁煙地区での違反者への罰金制度も活用していくべきと考えておりますし、禁煙地区以外でもマナー向上の為に「地下鉄車両内、また駅の構内放送、天神などのビジョンによる啓発を進める様求めております」

6月 移動支援について

2025年団塊の世代の方が75才以上となり超高齢社会をむかえるなかで、現在は高齢者とはいっても元気で、精力的に地域活動や色々な活動をされている方々もおられます。しかし、坂道が多い地区では高齢者の方にとっては買い物や通院が不便であると感じられている方々も多くおられます。「高齢者乗車券についてもこれまで通りのサービスが利用できる様にそしてモデル事業にてしっかり研究をし、移動支援事業の充実を求めています」

6月 緊急時AEDの使用について

皆様も今、街を歩いていて、突然人がたおれ、心肺停止の状況に出合った時とまさに、AEDを探す事が困難ではないかと思えます。何処にAEDがあるかさえ分かりづらい中、私は「AEDの設置場所が街中で広く目につくような取組みが必要であるという事を訴えております」

10月 民泊について

平成28年9月議会において「旅館業法施行条例」の一部改正が可決され、本市でも家主不在型（マンションの空き部屋を利用）の民泊が可能となりましたが、インターネット仲介の無許可民泊業者への取締りはこの条例ではできません。ホテル、旅館業を営む方々がこの規制緩和により、パカを見ない様にならなければなりません。しかし、福岡市はインバウンドによる来福者も増えるなかホテル不足の現状はいなめません。ホテル不足の解消の為民泊も必要であります。利用者民泊施設の近隣住民への安全・安心を最大限確保する様求めております。

10月 福岡城再整備とセントラルパーク構想について

27年12月の第1回質問から約1年を経過し整備、公園活用の進捗状況について質問を致しました。福岡城整備基金への寄付金がなかなか集まらない中、本市は「ふるさと納税」制度の活用を実施しました。しかし、これだけでなく「クラウドファンディング」の活用や「公共交通機関での周知」も考える様求めました。また、通年を通しての賑わい創りの一貫として、舞鶴公園での年間を通したBBQの利用を可能とする様求めております。また、国の重要文化財である多聞櫓の周辺を歴史を感じながら休憩ができる様に整備する様求めています。また障がいのある方や高齢者にも利用しやすい公園整備をする様求めています。

これからも「覚悟と責任」「思いやりの心」を持ち、一生懸命市政へ取り組む所存です。どうか、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。